

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域共生に向けた居場所づくり
事業主体 (連絡先)	Y and S 駒ヶ根市赤穂 4400-2 電話 0265-82-3996 事務局 宮澤和子
事業区分	地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,308,508 円 (うち支援金: 1,740,000 円)

事業内容

駒ヶ根駅前の空き店舗を活用し、「ヤングやシルバー」等どなたでも寄っていただける『居場所』を作り、街中の活性化を狙ってのものです。

食堂の営業許可を取り、終局的には「子供カフェ」を開設することで、先ずはどんな方々でもこの店に来て楽しく和気あいあいに過ごしてもらうことが一番です。

また、旅行者の一次立ち寄り場としても都合よく使ってもらっており、荷物の一次預かりを行っています。

スタッフの研修も盛んに行っており、衛生面や料理教室・お茶の教室等多彩にわたり勉強をし、自分磨きにも役立っています。



【イベントの様子】

【目標・ねらい】

- ① 子供用の料理教室勉強会
- ② 子供食堂に向けた食材ゲット
- ③ 誰でも集える場所の提供

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

・ハード：店舗の改修工事は、狙い通りに完成し、スタッフ一同満足しています。食堂としての機能も十分で機器も寄附等で充足でき有りがたかったです。

・ソフト：衛生面の講習から始まり、山越先生の料理講習や山田先生の抹茶教室でスタッフの技量も上がり、お客様に対して自身が持てたようです。

食堂としてのメニューも段々増えており、お客様が何時も店に居る状態で売り上げも増えており、次期支援金の受給は必要無しとなりました。

※自己評価 【 B 】

【理由】

集いの場としては、幾分定着したのかなと思えるほどに成りましたが、こどもカフェにはまだ遠いものがあります。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

子どもカフェの開催が最終目標で、フードバンク等の活用を目指しています。

また、食材業者にも声掛けしており、次年度には何とかしたいものです。

スタッフの増員をめざし、勤務シフトが楽に組めるようにし、個々の方の負担を減らしたいです。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある